

林いさお通信



ブログ：<http://pikaichino.exblog.jp/> Tel 049-259-2228

討議資料 No. 16 財政の健全化 平成20年4月4号 林いさお後援会



「ザイバク」って 知っています？

千葉県の鎌ヶ谷市では、学生約10名が「財政に爆発的に詳しく述べる！」と「ザイバク」と名付けて鎌ヶ谷市の財政白書を作りました。

(撮影：林)

多聞院の身代わり寅

3月15日に発行し、わずか2～3日で600部が完売し、修正を加え再版する予定だという。

夕張市の財政破綻などを背景に、住民が自治体財政を監視する動きが広がっている。自分たちの市町村の財政を自分たちで分析し、「財政白書」を作る取り組みも増えてきている。

「ザイバク」の学生の皆さんには、「自分たちの住む町の財政状況がどうなっているのか」問題意識を持ち、声をかけたら共鳴者が相次ぎ、今回の発刊につながったという。

鎌ヶ谷市議会も、学生が頑張っているからということで、はじめて3月議会で

予算案を否決。否決すればいいということではないが、自治体の財政に市民が関心を持ち、議会もきちんとチェックし、修正、もしくは組み替え動議を出す流れは、あきらかに主流になりつつある。それは、夕張市の財政破綻の要因の一つに議会のチェック機能が機能しなかつたことがあり、その責任を自覚し始めた議会が増えたことによる。

そして、今回の発刊にかわった多摩住民自治研究所副所長の大和田一紘氏は、「自治体の財政状況をチェックしながら、先ずは住民、行政の一致する都市像をしつかり描くことも大事だ。」という。